

皇民修身鑑

尋常科  
生徒用

卷之一



檢定申請本

K120.1  
33  
1

K120.1

33

1

學海指針杜編

尋常科  
生技用

皇民修身鑑

卷之二

版權所有

集英堂藏板

# 勅諭

朕惟フニ我カ皇祖皇宗國ヲ肇ムルコト宏遠ニ德ヲ  
樹ツルコト深厚ナリ我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億  
兆心ヲ一ニシテ世々厥ノ美ヲ濟セルハ此レ我カ國  
體ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦實ニ此ニ存ス爾臣民  
父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ勿友相信シ恭儉  
己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ學ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ  
智能ヲ啓發シ德器ヲ成就シ進テ公益ヲ廣メ世務ヲ  
開キ常ニ國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義  
勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ是ノ  
如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ  
爾祖先ノ遺風ヲ顯彰スルニ足ラン  
斯ノ道ハ實ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民  
ノ俱ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ  
中外ニ施シテ悖ラス朕爾臣民ト俱ニ拳々服膺シテ  
咸其德ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

御名

御璽

長英敬書

皇民修身鑑

凡例



一 是書、専ラ勅諭ノ聖意ヲ遵奉シ、小學校教則大綱第一條ノ要旨ニ基キテ編述シ、以テ尋常小學校修身課

用書ニ供ス。  
一 是書、全部八冊、一學年ニ二冊ヲ充ツ、獨リ三學年ノ小學校ニ於テハ、一卷ヨリ六卷ニ至ルノ六冊ヲ充ツレバ、則チ可ナルモノナリ。

一 是書、每巻道德ノ條目ヲ總ベ録スト雖モ、易ヨリシテ難、淺ヨリシテ深ニ及ビ、漸ク生徒ノ學力ニ適セ

ンテ期セリ、文字文章ノ如キモ亦然リトス。  
一 凡ソ一事ヲ授ケンニ、必ズ應ニ生徒ヲシテ、能ク條

理ヲ融會通曉セシムベシ、然ラザレバ、單ニ一場ノ佳話ニ屬シテ、實踐ノ効ナキナリ、故ニ本書ハ嘉言俚諺ノ最モ曉り易キモノヲ撰ミテ、之ヲ掲グルニ、必ズ單獨孤立セシメズ、能ク之ヲ按排シ、表裏ヨリ人道實踐ノ方法ヲ説キ、反覆誦讀ノ間、知ラズ識ラズ、感染會得セシメンヲ期セリ。

一 古人善行ノ實例ハ、悉ク本邦人ノ事蹟ヲ採録セリ、一々優美ニシテ、鮮明ナル圖畫ヲ挿ミテ、生徒ノ注意ヲ喚起セリ。

一 善行ヲ記スルニ、簡短ニシテ解シ易キヲ務メ、其要ヲ撮録セリ、其詳ナルハ、一二教師用書ニ譲ル、是レ一二句ノ嘉言ノ下ニ、冗々タル事實ヲ記シ、讀本ト

其體ヲ同ウスルノ通弊ヲ避ケタルモノナリ。

一 每課ニ掲ゲタル善行ニシテ、尚ホ足ラザルノ感アラバ、教師用書ニ掲ゲタル例話ヲ口授シ、其不足ヲ補ヒ、尚ホ足ラザルキハ、備考ノ事實ニ及ボスベシ、凡ソ古人ノ善行ヲ教フルモノハ、專ラ生徒ヲシテ、古人ト同感ノ情ヲ啓發セシメ、以テ徳性ヲ涵養セシムルニアリ、故ニ善行ヲ口授スルノ多少ハ、生徒ノ感情如何ニ從テ斟酌スベシ。

一 是書ヲ授ケンニハ、必ズシモ嘉言俚諺ヨリ講セザレ、便宜ニ從ヒ、先ツ善行ヲ講述シ、生徒ヲシテ同感ノ情ヲ喚起セシメタルノ後、嘉言俚諺ヲ授ルモ亦可ナリ、其次序如何ニ就テハ、一々教師ノ意ニ任ス、

一作法ハ、人道實踐ノ方法ヲ授クルニ於テ缺クベカラザルナリ、故ニ機ニ臨ミ時ニ應ジテ、之ヲ授ケンヲ要ス、宜シク教師用書ノ每卷末ニ録スル所ヲ、參酌シテ授クベシ。

# 皇民修身鑑

卷之一

しよもつをた  
いせつにす

第

一



集英堂蔵

巻之二

集英堂蔵

柳屋

水部刀

第二

とくがはみつ  
くにおちよち  
ゆうをい  
かみすきを  
みせむ



第三

さなだ  
のぶゆ  
きのん  
トゆを  
かごに  
いれど  
りのく  
るのみ  
をら





第四

ううすけかめを  
はなちてうみへ  
かへす



初原

第五

うまかたーや  
うぢきよして  
かねをかへ  
す



初原

五島

第六

ちやうくんあや  
ふきをわたらす



集英堂藏片

第七

とみあいの  
あやふきを  
すくふ



集英堂藏片

第八

はなはほきいち  
てんどんのや  
ろににっさんす



松屋

第九

さかもとりうま  
あめかぜをを  
かしてけいこト  
よにゆく



松屋

木部刀

第十

とくがはいへ  
つなとより  
をいたはる



第十一

いぬよく  
しゆとんを  
みちびく



集英堂 繪巻 卷之十一



第二十第

くまわかまるち  
ちのかたきを  
うちてのがる

第十三

○オヤヲタイセツニ  
セヨ。

○オヤヲタイセツニ  
スルハカウカウナリ。

聖賢集巻 卷之十一 七



第十四

○キヤウダイハツネニ  
 ナカヨクセヨ。  
 ○ケンクワナドスルハ  
 アシキコトナリ。



第十五

○トモダチハ ツネニ  
ナカヨクセヨ。  
○タガヒニタスケアフ  
ベシ。



第十六

○ギヤウギヲヨクス  
ベシ。

○ギヤウギワロケレバ  
ヒトニワラハル。



ふちたとうこれ  
いぎをよくす



第十七

○ヤクソクハヨクマモ  
レ。  
○ヤクソクニソムクハ  
アシキコトナリ。

左わながとーや  
くろくはろむか  
か



第十八

○アシキコトハスグニ  
アラタメヨ。  
○アシキコトハマタマタ  
スベカラス。

なかもら  
りつゑ  
れやの  
いまーめ  
により  
てれこな  
ひをあ  
らたむ



をわり

明治二十五年十月五日印刷  
明治二十五年十月八日出版  
版 有 所 權

定價金四錢

著者 學海指針社

東京市日本橋區村松町七番地

發行兼印刷者 小林八郎

東京市日本橋區通旅籠町十一番地

發賣所 集英堂本店

東京市日本橋區通旅籠町十一番地

賣捌所 集英堂支店

栃木縣宇都宮大工町

賣捌所 各府縣下書肆



